



**三重県内議会トップ15公開 1位は四日市市議会
議会改革トップランナー 鳥羽市議会、三重県議会が続く**
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月20日、**2017年度「議会改革度調査」の三重県ランキング上位を公開しました。**

以前から改革を推進し全国議会のトップランナーでもある四日市市が県内首位。2位に鳥羽市、3位に三重県が続き、全国トップ300に11議会が入りました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼三重県内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下もしくは前年未回答は「-」と表記。 ※三重県内は20議会が回答（回答率67%）

順位	議会名	総合順位	前年比	順位	議会名	総合順位	前年比
1	四日市市議会	5	-2	11	志摩市議会	270	+125
2	鳥羽市議会	19	-11	12	津市議会	-	-
3	三重県議会	28	-1	13	松阪市議会	-	-
4	亀山市議会	58	-17	14	明和町議会	-	-
5	伊賀市議会	69	-41	15	熊野市議会	-	-
6	鈴鹿市議会	141	-50				
7	名張市議会	145	+19				
8	いなべ市議会	161	+51				
9	伊勢市議会	184	+7				
10	尾鷲市議会	252	-69				

■TOP3 議会、注目議会の特徴

- ・ **1位【四日市市議会】** 所管事務調査で市民からの提案を募集、各常任委員会における調査事項決定の参考としている。高校生のみを対象に、市議会活動の認知度などを調査するアンケートも実施。
- ・ **2位【鳥羽市議会】** 議会報告会は「TOBA ミライトーク」と称し、グループディスカッション方式を導入。社会実装に関する研究の一環として、三重県地方自治研究センターと相互協力している。
- ・ **3位【三重県議会】** 毎年、各常任委員会の取組みを自己評価し、評価結果を翌年度に引き継ぎ、議会活動の改善に努める「評価サイクル」を実践。広聴広報活動の一環として、高校生県議会も実施。
- ・ **4位【亀山市議会】** 「議会改革白書」を独自に作成し毎年更新。議会基本条例は「検討課題カルテ」を作成し、改善を重ねている。「見える議会」の観点で市民にわかりやすい議会活動を展開。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>